



花崎北小学校だより

学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」

令和5年度
12月号
児童数253名

「変化」

校長 藤井 真仁

11月の上旬は半袖で過ごせるような暖かい日が続きましたが、最近は、秋を飛び越えて一気に冬が来たような寒い日が多くなってきました。皆さん、どうぞご自愛ください。先日の授業風景から...

理科の授業で4年生が、金属を熱したときの体積の変化について調べる実験を行いました。各班が実験の様子をタブレットで動画に撮り、まとめや振り返りなどに活用していました。タブレットをはじめ、私が小学校の時には使っていなかった（存在していなかった）道具を駆使して展開される授業に、感心させられました。

さて、「唯一生き残ることができるのは、変化できる者である」（進化論を唱えたダーウインが言った言葉という説や、別人の言葉が誤って伝わった説などがあるそうです）という言葉があります。また、「変化が激しい現代では、〇〇の力が必要だ」などと言われていきます。AIなどのテクノロジーの急激な進歩、3年余り続いたコロナ禍などは、学校現場に大きな変化をもたらしました。花北小や地域も、開校後の30年間で大きく変わりました。プラス面だけではないでしょう。

変化を肯定的に捉えて対応していくことが、未来を創る子どもたちには必要なのかもしれません。私たち教職員も、時代の変化に合わせて教育に関する知識や技能を高めるよう努めております。

金属の体積のように元に戻る変化もあれば、割れたガラス細工のように完全には戻らない変化もあります。元の姿が正しいのか、少し変えた方がいいのか、白紙に戻すのが正解なのか、いろいろと考えてしまいます。

収穫の秋

校長講話（全校集会） R5.11.8

11月4日の運動会、大成功でしたね。

来賓、地域の方からたくさんお褒めの言葉をいただき、とてもうれしくなりました。

今月も「秋といえば」のお話をします。今日は「収穫の秋」についてです。

「収穫」とは、「野菜や果物をとること」や「取り組んだ成果。得られた結果」のことです。「米を『収穫』する」「調べるのに時間がかかったが、大いに『収穫』があった」などをつかいます。

先日、あさひ学級や1、2年生がサツマイモを収穫しましたが、収穫しただけだと食べられません。洗ったり、焼いたり、ゆでたりなど、ひと手間が必要です。

学校生活でも同じことが言えるのではないのでしょうか。

運動会に話は戻りますが、大成功だった運動会、たくさんの収穫がありました。

でも、やりっぱなしでは、もったいないです。収穫したものにひと手間加えることで、さらにいいものになります。

2学期は、運動会や修学旅行、校外学習、遠足などたくさんの行事がありました。

終業式まで残り1か月ちょっとです。行事や日々の授業で収穫したもののまとめをしっかりと、知識や技能などを確実に身に付けてください。

